

## 熱海市制 80 周年記念「熱海温泉誌」刊行について

熱海温泉誌作成実行委員会

### ● 企画趣旨・刊行の目的

＜未来につながる熱海温泉の歴史を検証し、役立てるために＞

1. 熱海温泉は日本屈指の温泉地でありながら、温泉史誌がない。温泉の歴史を残すことは、熱海市が「熱海市観光基本計画」で「2017 年目指すべき姿」とする将来像実現のための柱の 1 つ「温泉中心主義」を裏付ける礎として必要不可欠と考え、市制 80 周年記念事業として「熱海温泉史」を刊行する。
2. 温泉史誌編纂は、平成 16 年の「魅力ある温泉活用プラン策定委員会」で提案された項目でもあり、平成 21 年 NPO 法人エイミックでは温泉史編纂を検討すべく「熱海温泉史誌作成のための勉強会」をスタートした。平成 22 年度から熱海市の予算を得て「熱海温泉史誌策定検討会」として継続し、昨年度まで通算 20 回の検討会を開催し、具体的な資料収集や調査に着手している。
3. 熱海市の形成と発展の歴史に深く関与している温泉について、現在の知見、「熱海市史」刊行（市制 30 周年）以降の新しい発見やテーマ・切り口、調査結果などをとりまとめ、市民の知的財産として未来に残すことは学術的に価値があるばかりでなく。市民の誇り、アイデンティティのためにも意義がある。さらに観光客や転入者への PR といった温泉観光経済に結びつく活用、生徒たちへの教材など教育的観点からも利用価値がある。
4. 上記コンセプトに沿い印刷物として「熱海温泉誌」をまとめることが目的ではあるが、温泉誌をまとめるに当たって行う資料収集とその資料の保管・保持も今やっておかなければ時期を逸することになる大切な目的の 1 つである。戦後の資料は散逸したままであることや、生きた証言を収集する時間も限られている。熱海市の資源・資産として温泉のルーツを明らかにしておくことは、熱海温泉の信頼性の基盤になり、それは他の温泉地の状況からも容易に理解できる。

### ● 編纂スケジュール

平成 26 年度 内容の企画、構成案の作成、執筆者選定・依頼など。資料収集・調査・研究  
平成 27 年度 執筆状況のチェック。研究執筆以外の原稿作成・編集。資料収集、整理。  
平成 28 年度 入稿、原稿校正、表紙デザイン等の決定、印刷。資料収集、整理。  
＜完成 平成 29 年 4 月 10 日 市制 80 周年記念日に発行予定＞

### ● 「熱海温泉誌」の体裁

A4 版、ソフトカバー、400 ページ前後の 1 冊本の予定。